

乳児期からの全身乾燥と一時的な広範囲発疹を経て症状が緩和した小児アトピーの経過 (6 歳 小児)

症例 ID：001-06-ON | 記録日：2017 年 7 月 18 日

1. 診断・治療前経過

乳児期から全身の乾燥があり、症状時に煎じ薬を使用しました。
年中頃に喘息症状、年長頃に春先の目のかゆみが出ました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児科でステロイド外用薬を処方されましたが使用していません。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	使用していません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	来院前後ともステロイドは使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期	発症	全身の乾燥がみられました。
乳児期以降	治療開始	症状時に煎じ薬を使用しました。
年中頃	喘息症状	ケンケンする咳が出る時期がありました。
年長頃	花粉症症状	春先に目のかゆみが出ました。
同時期	広範囲発疹	胸、腹部、背中、肘内側に多数の発疹が出ました。
治療継続後	変化	煎じ薬を毎日飲み、皮膚状態は徐々に軽減しました。
6 歳時	経過中	風邪時に蕁麻疹が出ることはあるものの、症状は緩和していました。

4. ピーク時期

ピークは、胸、腹部、背中、肘内側に多数の発疹が出て、小児科で強い皮膚症状を指摘された時期です。

5. 困りごと

- 全身の乾燥に加え、喘息、花粉症、蕁麻疹が時折みられました。
- 煎じ薬の苦味に対する飲み方の工夫が必要でした。

6. 経過のまとめ

広範囲の発疹が出た時期もステロイドを使用せず治療を継続し、皮膚状態は徐々に軽減しました。
6 歳時には風邪時の蕁麻疹などに対し、症状時の治療を続けていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。